資料１

# 2023年（令和5年）度　事業報告書

2023年（令和5年）4月１日～2024年（令和6年）3月31日

特定非営利活動法人 Earth as Mother 三重

## １　事業実施の概略

特定非営利活動法人 Earth as Mother 三重は、Earth as Mother の理念である【「全ての人と自然と共に生きる」事を基本とした「生活様式」を6つの理念を基に構築し、未来の子供たちに心も身体も健康に笑顔で暮らせる地球を渡していく事】へ賛同し、全国6拠点の一つである三重においても、6つの理念への取り組みを行う事を目的として設立した。

2023年（令和5年）度も引き続き、三重県松阪市を中心として活動。

未来の子供たちが安全で安心して食せるおいしい作物づくりを中心とした真農業の推進と、地球環境にやさしいコミュニティを創造することをテーマに、各種イベントを通じて活動理念の普及や賛同者を着実に得ることを目的に実施した。

環境セミナーを通じて、当会理念や活動に対する賛同者を得ることが出来た。

食育・食農イベントとして、田植え・麦刈り体験、夏野菜収穫と一から作るピザづくりワークショップ、稲刈り・麦種まき体験、食育感謝祭、手前味噌づくりワークショップを行い、農薬、化学肥料、除草剤を一切使用しない昔ながらの手作業による農作業の方法とそれによる環境保全効果、安全な食による健康効果、手作りの食と共食の楽しさ、今後の世の流れの中でのコミュニティ構築の重要さを伝えた。

環境セミナーとして「マザリーアースプロジェクトセミナー」を2回実施。主に会員および当会拠点である大石町の住民の方々を対象に当会理念や活動を紹介し、賛同を得ることが出来た。

「田植え・麦刈り体験」では、在来種・固定種と完全オーガニック、昔ながらの手作業にこだわった体験、自然との共生を体験する機会を提供した。

「夏野菜収穫と一から作るピザづくりワークショップ」では、手作業による野菜ごとの収穫方法、小麦粉をこねてピザ生地を作る方法、包丁を使った事の無い子供に野菜の切り方指導、窯に薪火をくべてピザを焼く方法を伝授。完全オーガニックの食材を使用する事により、本物の食の味を伝えた。

「稲刈り・麦種まき体験」では、いずれも手作業による方法を伝授。火起こし体験も実施し、災害時でも役に立つ知識を伝えた。

「食育感謝祭」では、完全オーガニック黒米の餅つき、当会の味噌で作った味噌汁の試食にて自然の中での共食を実施。安全・安心の食の啓発と昔ながらの食文化の体験を提供した。

「手前味噌づくりワークショップ」で使用した材料は固定種、在来種の大豆と米にこだわった。また当会の味噌で作った味噌汁を昼食時に提供。生きた本物の味と健康効果を伝え、食物の安全性と手作りの重要性への理解が広がった。

年間を通じて農作業ボランティアを募集し、参加者に有機循環自然農法による環境保全効果と、安全・安心の作物づくりの方法と健康効果を伝えた。食農活動を通じて、耕作放棄地問題解消の一助となった。

活動報告やイベント告知には、メール、電話、ホームページとSNSを利用。イベントチラシを作成し、各種公共施設への設置や個人間で渡す等で宣伝した。

各事業の具体的な内容としては、定款の目的を達成するため、次の事業を実施する。

①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業。

③保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業。
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業。
⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂促進に係る事業。
⑥食育を推進する事業。
⑦農作業の付帯業務・請負及び農具・土壌改良資材の製造、販売事業。
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業。

## ２ 事業の実施に関する事項（特定非営利活動に係る事業）

①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業
（ア）事業内容
会の広報的情報発信を支援。
〇ホームページ、SNS にイベント案内およびイベント報告を掲載。
〇会員および一般向けにメールマガジンを月 1～2 回配信。
〇他団体交流として、松阪市市民活動センター、松阪市大石地区市民センターにイベントチラシ配布の協力を依頼。

（イ）WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業
（1）開催日および講師等

| 事業名（定款に記載した事業） | 具体的な事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | (1) 受益対象者の範囲<br>(2) 人数 | 事業費の額（単位：円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業（WEBシステム） | 会の広報的情報発信<br><br>ホームページ、SNS、メールマガジン等による情報発信 | 2023年（R5）4月1日～2024年（R6）3月31日の期間で不定期に発信 | ホームページ、SNS、メールマガジン | 24人（2回／月） | (1) 当会活動に関心がある市民、会員<br><br>(2) 不特定多数 | 0 円 |

（2）総費用（無償ボランティア　24人）
総合計　　0円

（3）収益
総合計　　0円

（4）反省点・改善ポイント
SNSでの告知は今年度新たにYou Tube、Instagram、Tiktokの利用を開始。反応は有るが集客には結びつかず、また計画性が無かったため継続的な発信に至らなかった。効果的な投稿回数と内容を意識した実績に結びつく広報を計画的に行う。
チラシでの告知は、情報が求められる場所に届いておらず反応が薄い。次年度以降は積極的に設置

協力者を探す。

②自然再生と環境の保全活動を支援する事業
(ウ)事業内容
環境セミナーとして6月18日に第8回マザリーアースプロジェクトセミナー、1月14日に第9回マザリーアースプロジェクトセミナーを実施。参加者に対して当会の活動テーマ、理念、方針、事業内容を紹介し、理解と協力を訴えた。

(エ)事業内容　環境セミナー
○6月　第8回マザリーアースプロジェクトセミナーでは、アースアズマザーの紹介動画を放映した後、理事の村野政章によるセミナーと、理事長の市川美奈による三重独自のマザリーアースプロジェクトの説明と活動紹介を実施し、賛同を得ることが出来た。参加者とともに大石町の未来について積極的な交流を行った。
○1月　第9回マザリーアースプロジェクトセミナーは、地域住民を対象に実施。第8回同様、動画放映と理事長からのマザリーアースプロジェクト説明、活動紹介を実施。参加者に賛同と期待が広がり、地域の農業・福祉に関して住民の生の声を聞けるなど、今後の活動に重要なヒントが得られ、有意義な交流が出来た。

(オ)自然再生と環境の保全活動を支援する事業　環境セミナー
(1)開催日および講師等

| 事業名<br>(定款に記載した事業) | 具体的な事業内容 | 実施<br>日時 | 実施場所 | 従事者の<br>人数 | (1) 受益対象者の範囲<br>(2) 人数 | 事業費の額<br>(単位:円) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ② 自然再生と環境の保全活動を支援する事業<br>(環境セミナー) | 第8回マザリーアースプロジェクトセミナー<br><br>アースアズマザーグループの理念、活動紹介 | 2023年<br>(R5)<br>6月18日<br>14:20 ～<br>17:00 | 当会<br>事務所 | 3人 | (1) 当会活動に関心がある市民、会員<br><br>(2) 8人 | 500 円 |
| ② 自然再生と環境の保全活動を支援する事業<br>(環境セミナー) | 第9回マザリーアースプロジェクトセミナー<br><br>アースアズマザーグループの理念、活動紹介 | 2024年<br>(R6)<br>1月14日<br>12:00 ～<br>15:30 | 大石町<br>谷区<br>集会所 | 2人 | (1) 当会活動に関心がある市民、会員<br><br>(2) 10人 | 5，170 円 |

(2)総費用(無償ボランティア　5人)
総合計　39，420円
(内訳)
●第8回マザリーアースプロジェクトセミナー
・賃借料　(事業)　500 円
●第9回マザリーアースプロジェクトセミナー

・賃借料　　（事業）　　3，000　円
・広告宣伝費　（事業）　　1，170　円
・印刷製本費　（事業）　　1，000　円
●建物減価償却
・減価償却費　（事業）　　33，750　円

（3）収益
総合計　　14，000　円
（内訳）
●第8回マザリーアースプロジェクトセミナー
・参　加　費　　8，000　円（1，000円×8人）
●第9回マザリーアースプロジェクトセミナー
・参　加　費　　（会員）　　2，000　円（1，000円×2人）
　　（シニア）　　4，000　円（　500円×8人）

（4）反省点・改善ポイント
　1月セミナーは、住民を対象に絞った点は良かった。宣伝開始がイベント直前になってしまい、参加者が少なかった。事前から計画的に積極的宣伝を行う。

③保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業
　本年度は実施せず。

④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業
（カ）事業内容
　食農イベントとして、田植え・麦刈り体験、夏野菜収穫体験、稲刈り・麦種まき体験を実施。
　農事業として農作業ボランティアの募集を実施した。
　いずれの事業も松阪市大石町の田畑で行った。

(キ)事業内容　食農イベント

○6月 「田植え・麦刈り体験」を実施。在来種の黒米の田植えを手植えで実施し、完全オーガニックの古代小麦の麦刈りを手刈りで実施。農薬、化学肥料、除草剤を使用していない圃場で自然、生き物との共生と、昔ながらの手作業による作物の栽培、収穫を体験する機会を提供した。

○8月 「夏野菜収穫体験」を実施。オーガニックで育てた夏野菜の収穫を手作業にて行い、野菜ごとの収穫方法の違いを実践を通じて伝えた。あいにく連日の酷暑で野菜が生育不良で、あまり多く収穫出来なかった。

○10月 「稲刈り・麦種まき体験」を実施。作業はいずれも手作業による方法を伝授。稲刈りでは昨年度からのリピーターのお子様の成長が見られ、継続開催の意義を認識した。昼食時には木の摩擦熱で火を起こす火起こし体験を実施。実際に火が点き盛り上がった。災害時でも役に立つ知識を伝えた。

(ク)資源循環型・環境保全経済を推進するコミュニティの構築事業　食農イベント

(1)開催日および講師等

| 事業名<br>(定款に記載した事業) | 具体的な事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | (1) 受益対象者の範囲<br>(2) 人数 | 事業費の額<br>(単位:円) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業<br>(食農イベント) | 田植え・麦刈り体験<br><br>手作業による田植えおよび麦刈方法の説明と実践 | 2023年<br>(R5)<br>6月25日<br>9:00 ～<br>15:00 | 松阪市大石町内の圃場 | 2人 | (1) 自然との共生に、安全安心な食育・食農に関心がある市民、会員<br><br>(2) 10人 | 0 円 |
| ④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業<br>(食農イベント) | 夏野菜収穫体験<br><br>手作業による収穫方法の説明と実践 | 2023年<br>(R5)<br>8月6日<br>10:00 ～<br>10:30 | 松阪市大石町内の圃場 | 2人 | (1) 自然との共生に、安全安心な食育・食農に関心がある市民、会員<br><br>(2) 6人 | 1，184 円 |
| ④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業<br>(食農イベント) | 稲刈り・麦種まき体験<br><br>手作業による稲刈および麦種まき方法の説明と実践 | 2023年<br>(R5)<br>10月21日<br>9:00 ～<br>15:00 | 松阪市大石町内の圃場 | 2人 | (1) 自然との共生に、安全安心な食育・食農に関心がある市民、会員<br><br>(2) 7人 | 4，550 円 |

(2)総費用(無償ボランティア　6人)

総合計　39，484円

（内訳）
●夏野菜収穫体験
・仕入　　（材料費）　　784円
・広告宣伝費　（事業）　　120円
・保険料　　（事業）　　280円
●稲刈り・麦種まき体験
・広告宣伝費　（事業）　　990円
・賃借料　　（事業）　　3，000円
・保険料　　（事業）　　560円
●建物減価償却
・減価償却費　（事業）　　33，750円

（3）収益
総合計　　28，000円
（内訳）
◆田植え・麦刈り体験　参加費
・一　般　大　人（中学生以上）　　6，000円（2，000円×3人）
・会　　員　　6，000円（1，500円×4人）
・小　　人　　3，000円（1，500円×2人）
・幼　　児　（未就学児）　　0円（　　無料×1人）

◆夏野菜収穫体験　参加費
・会　　員　　2，500円（　500円×5人）
・小　　人　　300円（　300円×1人）
＜野菜販売＞
・売上高NPO　　200円

◆稲刈り・麦種まき体験　参加費
・一　般　大　人（中学生以上）　　4，000円（2，000円×2人）
・会　　員　　4，500円（1，500円×3人）
・小　　人　　1，500円（1，500円×1 人）
・幼　　児　（未就学児）　　0円（　　無料×1人）

（4）反省点・改善ポイント
　6月の麦刈り体験は、後半子供たちの集中力が切れて対応に追われた。楽しめるよう内容の工夫、スタッフ増加など、対策を行う。
　いずれのイベントも好評だった事から内容自体は良いと再認識した。情報を求めている層に届く宣伝

活動を繰り広げる。

(ケ)事業内容　農事業

年間を通じて農作業ボランティアを募集し、参加者に有機循環自然農法による環境保全効果と、安全・安心の作物づくりの方法と健康効果を伝えた。実際の農作業により、耕作放棄地問題解消の一助となった。

(コ)資源循環型・環境保全経済を推進するコミュニティの構築事業　農事業

(1)開催日および講師等

| 事業名（定款に記載した事業） | 具体的な事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | (1) 受益対象者の範囲<br>(2) 人数 | 事業費の額（単位：円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業（農事業） | 農作業ボランティアの募集<br><br>有機循環自然農法の普及、耕作放棄地の維持・管理 | 2023年（R5）4月1日～2024年（R6）3月31日の期間で不定期に実施 | 松阪市大石町内の圃場 | 1日あたり1～2人 | (1) 自然との共生に、安全安心な食育・食農に関心がある市民、会員<br><br>(2) 15人 | 0 円 |

(2)総費用（無償ボランティア　15人）

総合計　　0円

(3)収益

総合計　　0円

(4)反省点・改善ポイント

告知不足により昨年度より新規利用者数が減少。アクティボ以外の宣伝媒体、およびメールマガジンによるリピーターへの呼びかけ頻度を増やす。

年間作業計画を作成し、それに基づいた作業内容の告知を同時に行う。効果的な集客を実施するために本人に直接対話する機会を作り、食育の重要性を明確に伝える事で計画的に個別参加を

促す。また、リストを作り定期的に電話を通じて声掛けをする。

⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業

本年度は実施せず。

⑥食育を推進する事業

（サ）事業内容

食育イベントとして、一から作るピザづくり、食育感謝祭、手前味噌づくりワークショップを実施。

（シ）事業内容　食育イベント

○8月　「一から作るピザづくり」を実施。小麦粉からこねてピザ生地を作る方法、包丁を使った事の無い子供に野菜の切り方を伝授。土と稲わらで作ったアースオーブンに薪火をくべてピザを焼く体験により、自然のものだけで調理ができる方法を伝えた。完全オーガニックの食材を使用する事により、本物の味を伝えた。

○11月　大自然の恵みへの感謝の想いを伝えるため「食育感謝祭」を実施。有機循環自然農法で育った黒米で餅つき、当会の味噌で作った完全オーガニック味噌汁の試食を実施。安全・安心の食の啓発と昔ながらの食文化の体験を提供した。餅のトッピングは地域の伝統野菜を使用し、地産地消を実践。自然の中で本物の食べ物を共食する事で子供たちを中心に笑顔あふれる場となった。

○2月、3月　有機循環自然農法で育った地元産の大豆および米こうじ（共に自家採取・固定種）を使用した「手前味噌づくりワークショップ」を2回実施。当会の味噌を昼食時に提供し、生きた本物の味噌の味と健康効果を伝え、完全オーガニックと手作りの重要性への理解が広がった。

（ス）食育を推進する事業　食育イベント

（1）開催日および講師等

| 事業名（定款に記載した事業） | 具体的な事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | (1) 受益対象者の範囲<br>(2) 人数 | 事業費の額（単位：円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ⑥ 食育を推進する事業（食育イベント） | 一から作るピザづくり<br><br>地産の小麦粉でのピザ生地づくり、包丁の使い方指導、共食体験 | 2023年（R5）8月6日 9:00～10:00、10:30～15:00 | 当会事務所 | 3人 | (1) 自然との共生に、安全安心な食育・食農に関心がある市民、会員<br><br>(2) 6人 | 3，397 円 |
| ⑥ 食育を推進する事業（食育イベント） | 食育感謝祭<br><br>完全オーガニック餅米の餅つき、当会の手前味噌で作った料理試食、郷土愛を歌う地元ミュージシャンのライブ | 2023年（R5）11月26日 11:00～14:30 | 当会事務所 | 5人 | (1) 自然との共生に、安全安心な食育・食農に関心がある市民、会員<br><br>(2) 22人 | 8，373 円 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ⑥ 食育を推進する事業<br>（食育イベント） | 第1回手前味噌づくりワークショップ<br><br>完全オーガニック大豆と米こうじを使用した味噌の仕込み、手前味噌の試食 | 2024年<br>（R6）<br>2月10日<br>9:30 ～<br>15:00 | 当会<br>事務所 | 2人 | ⑴ 自然との共生に、安全安心な食育・食農に関心がある市民、会員<br><br>⑵ 7人 | 26，217 円 |
| ⑥ 食育を推進する事業<br>（食育イベント） | 第2回手前味噌づくりワークショップ<br><br>完全オーガニック大豆と米こうじを使用した味噌の仕込み、手前味噌の試食 | 2024年<br>（R6）<br>3月2日<br>9:30 ～<br>15:00 | 当会<br>事務所 | 2人 | ⑴ 自然との共生に、安全安心な食育・食農に関心がある市民、会員<br><br>⑵ 5人 | 1，776 円 |

（2）総費用（無償ボランティア　12人）

総合計　309，763円

（内訳）

●ピザづくりワークショップ

・仕入　（材料費）　2，797円
・仕入NPO　（材料費）　200円
・広告宣伝費　（事業）　120円
・保険料　（事業）　280円

●食育感謝祭

・仕入　（材料費）　3，634円
・通信運搬費　（事業）　1，000円
・広告宣伝費　（事業）　990円
・消耗品費　（事業）　1，089円
・賃借料　（事業）　1，000円
・保険料　（事業）　560円
・支払手数料　（事業）　100円

●第1回手前味噌づくりワークショップ

・仕入　（材料費）　24，991円
・消耗品費　（事業）　666円
・保険料　（事業）　560円

●第２回手前味噌づくりワークショップ

・仕入　（材料費）　1，776円

●建物減価償却

・減価償却費　（事業）　270，000円

(3)収益

総合計　　102，800円

(内訳)

◆ピザづくりワークショップ　参加費

・会　　員　　10，000円(2，000円×　5人)

・小　　人　　1，700円(1，700円×　1人)

◆食育感謝祭　参加費

・一 般 大 人 (中学生以上)　24，000円(2，000円×12人)

・会　　員　　6，000円(1，500円×　4人)

・小　　人　　3，000円(1，500円×　2人)

・幼　　児　(未就学児)　　0円(　　無料×　2人)

・ゲスト出演者　　0円(　　無料×　2人)

◆第1回手前味噌づくりワークショップ

＜参加費＞

・一般大人　　(中学生以上)　6，000円(2，000円×　3人)

・会　　員　　3，000円(1，500円×　2人)

・小　　人　　1，500円(1，500円×　1 人)

・幼　　児　(未就学児)　　0円(　　無料×　1人)

＜材料代＞

・米麹、大豆、塩　　32，500円(3kg分　2，500円×13セット)

◆第2回手前味噌づくりワークショップ

＜参加費＞

・一般大人　　(中学生以上)　4，000円(2，000円×　2人)

・会　　員　　4，500円(1，500円×　3人)

＜材料代＞

・米麹、大豆、塩　　5，000円(3kg分　2，500円×　2セット)

＜物品販売＞

・米麹　　1，600円(350g入り　800円×　2セット)

(4)反省点・改善ポイント

ピザづくりは夏の暑い時期の実施は過酷と判断。次年度以降は開催時期を改める。

味噌づくりは昨年度の失敗を活かし、煮る時間を調整し成功。一方、スタッフ不足で子供たちへの対応に手が回らなかった為、次回以降対応を考える。効果的な集客を実施するために本人に直接対話する機会を作り、食育の重要性を明確に伝える事で計画的に個別参加を促す。また、リストを作り定期的

に電話を通じて声掛けをする。

⑦農作業の付帯業務・請負及び農具・土壌改良資材の製造、販売事業

本年度は実施せず。

⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業

本年度は実施せず。

**3　事業の実施に関する事項(その他の事業)**

本年度は実施せず。

**4　その他　費用**

(1)事務局管理費

1　総費用

総合計　188，832円

(内訳)

管理費の内訳

| | | |
|---|---|---|
| ・印刷製本費 | (管理) | 3，085円 |
| ・通信運搬費 | (管理) | 28，079円 |
| ・消耗品費 | (管理) | 86，604円 |

・広告宣伝費　（管理）　12，441円
・新聞図書費　（管理）　800円
・租税公課　（管理）　17，600円
・支払手数料　（管理）　2，723円
・減価償却費　（管理）　37，500円

２ 収益
総合計　347，502円
（内訳）
・受取入会金　1，000円
・正会員受取会費　55，000円
・団体・企業会員受取会費　10，000円
・受取寄附金　17，500円
・寮費　264，000円
・受取利息　2円

**５ 会議の開催に関する事項**

（1）通常総会

・開催日及び場所
2023年（令和5年）6月18日　13時30分～14時00分
（場所）当会事務所（三重県松阪市大石町2841番地）

・議題
第一号議案　2022年（令和4年）度　事業報告および決算報告について
第二号議案　2022年（令和4年）度　監査報告について
第三号議案　2022年（令和4年）度　寄附金報告について
第四号議案　2023年（令和5年）度　事業計画（案）および活動予算（案）について
第五号議案　2023年（令和5年）度　組織運営、役員選任（案）について

・総費用（無償ボランティア　3人）
総合計　8，265円
（内訳）
・印刷製本費　（管理）　5，035円
・通信運搬費　（管理）　2，730円
・賃借料　（管理）　500円

・収益
総合計　0円

(2)理事会

・開催日及び場所

第1回理事会

2023年(令和5年)5月26日　9時00分～12時00分

(場所)特定非営利活動法人　Earth　as　Mother　事務所

(愛知県名古屋市中区千代田 2-10-10-206)

・審議事項

第一号議案　　2022年(令和4年)度　事業報告および決算報告について

第二号議案　　2022年(令和4年)度　寄附金報告について

第三号議案　　2023年(令和5年)度　事業計画(案)および活動予算(案)について

第四号議案　　2023年(令和5年)度　組織運営、役員選任(案)について

第五号議案　　6月18日総会スケジュールについて

第2回理事会

2024年(令和6年)3月29日　18時00分～20時00分

(場所)当会事務所(三重県松阪市大石町2841番地)

・審議事項

第一号議案　　2023年(令和5年)度　事業報告(案)について

第二号議案　　2024年(令和6年)度　事業方針(案)について

第三号議案　　2024年(令和6年)度　年間スケジュール(案)について